

埼玉経済



サイ・テク・知と技の発信 こらむ

[197]

埼玉大学・理工学研究の現場

■手紙を使った実験

「小さな世界」という有名な歌ですが、世界は本当に意外なほど狭いのです。

1967年にミルグラムといふ社会学者が、手紙を使った実験をしました。まず、米国中西

部のネブラスカ州の住人160人を無作為に選び出し、手紙を送ります。

手紙には、とある男性の写真と、彼が東海岸のボストンに住む株式仲買人であること、彼をのつなぎ具合を丸と線で表す直接知つていれば彼に転送して

まつもと・のりこ 1980年生
まれ。2006年9月埼玉大学大学院修了。博士(工学)。同年10月から現職。専門は計算機ネットワークなど。

ほしい、知らなければ彼を最も知つていそうな友人に転送してほしい、と書きました。結果42通がその男性まで届き、手紙が経由した平均人数を調べるとたったの6人だったのです。

■ネットワーク

人と人との関係は、人を丸と線で表すと、図形で表現できます。このような図形を「ネットワーク」といいます。イン

ターネットも、計算機と計算機直接ついていれば彼に転送して

ます。

■人と人を結ぶ

知人関係で考えてみましょう。丸が集まる所は人の集団です。集団の中では、あなたがAさんとBさんとそれぞれ友達であるとき、AさんBさん同士も友達であるといった三角形の濃密な関係がたくさんあります。

一方で、ネットワークで線が多い所、つまり沢山の線がつながっている丸は、知合いがたくさんいる人です。そういう人が、人と人を結びつけるのに大きなります。

す。

このように、自然界や社会にさまざまな関係をネットワークで描くと、ある特別な性質をもつてきます。専門用語で「スマート・ワールド」と呼ばれ、数式で書き表せます。ミルグラムの実験は、実はこれを実際の人間集まつた所とスカラスカ所、集まつた所とスカラスカ所、線が多い所と少ない所が必ず現れます。

この理論は、18世紀の数学者オイラーが考案した「グラフ理論」をベースしていますが、

図形になります。

他にも例えば、路線図、言葉

噂話や伝染病を別の集団へ飛びます。

図と集団を結びつけています。

ケール・フリー性」と呼ばれます。

このように、自然界や社会に

あるさまざまなネットワークの性質を研究するのが「複雑ネットワーク理論」です。

この理論は、18世紀の数学者

オイラーが考案した「グラフ理

論」をベースしていますが、

あるさまざまなネットワークの

性質を研究するのが「複雑ネット

ワーク理論」です。

この理論は、18世紀の数学者

オイラーが考案した「グラフ理

論」をベースしていますが、

あるさまざまなネットワークの

性質を研究するのが「複雑ネット

ワーク理論」です。

このように、自然界や社会に

あるさまざまなネットワークの

性質を研究するのが「複雑ネット